

令和5年度 昭和大学教育に関する調査 集計結果(医学部)

送付数 57 回答数 34 回答率 59.6%

※同施設から2つの回答あり(別の担当者)。それぞれ1件としてカウントしました。

1. 令和5年度入職の本学卒業生の在籍人数をお教えてください。

1人	2人	3人	4人～	不明
25	4	3	1	1

2. 次の質問に掲げる能力・資質は、中央教育審議会答申や経済産業省が提唱する「社会人基礎力」等に基づき、社会人として必要と思われる能力・資質を類型化したものです。

昭和大学の卒業生・修了生が次の表の能力・資質を身に付けているかについて、該当する番号をご選択ください。

なお、(7)については、具体的な専門知識・技能について(7)-2の回答欄にご記入下さい。

		1 身に付けている	2 どちらともいえない	3 身に付けていない	計
(1)	コミュニケーション能力	28 82.4%	6 17.6%	0 0.0%	34 100.0%
(2)	自己理解・主体的行動	27 79.4%	6 17.6%	1 2.9%	34 100.0%
(3)	課題発見・対応能力、企画力、計画力	17 50.0%	16 47.1%	1 2.9%	34 100.0%
(4)	創造力・論理的思考力	16 47.1%	18 52.9%	0 0.0%	34 100.0%
(5)	学習習慣・自己啓発力	23 67.6%	9 26.5%	2 5.9%	34 100.0%
(6)	コンプライアンス・倫理観・モラル	25 73.5%	9 26.5%	0 0.0%	34 100.0%
(7)	専門知識・技能	11 32.4%	22 64.7%	1 2.9%	34 100.0%
(8)	文章表現力・数的処理能力	16 47.1%	18 52.9%	0 0.0%	34 100.0%
(9)	情報通信技術(ICT)活用能力	16 47.1%	18 52.9%	0 0.0%	34 100.0%
(10)	チームワーク	27 79.4%	7 20.6%	0 0.0%	34 100.0%
(11)	一般的知識・幅広い教養	18 52.9%	15 44.1%	1 2.9%	34 100.0%
(12)	統計分析・数値的分析力	9 26.5%	25 73.5%	0 0.0%	34 100.0%
(13)	社会課題の俯瞰的理解力	14 41.2%	20 58.8%	0 0.0%	34 100.0%

(7)の具体例

【身に付けている】	【どちらともいえない】	【身に付けていない】
・外科ラウンド終了後にも外科上級医に話しかけることが多いので、外科上級医の方から検査手技や手術への参加の誘いが多いようである。外科上級医が言うには、やる気のある研修医には限りなく指導したいとのことであった。カテーテルや外科内視鏡手術などの参加件数は抜きん出ていると思われる。手術の手順なども深く理解できている。	・病状を理解して血液検査等のオーダーを組める ・ICLS ・医学的知識 ・医師として働く上での基本的知識・能力	・カルテ記載

2. (1)～(13)の能力・資質のうち、貴社・貴団体にとって必要とお考えになるものについて、5つお選びください。

〈回答の多いもの上位5つ〉

1	(1)	コミュニケーション能力
2	(10)	チームワーク
3	(6)	コンプライアンス・倫理観・モラル
4	(3)	課題発見・対応能力、企画力、計画力
5	(2)	自己理解・主体的行動

3. 昭和大学では学士課程において建学の精神である「至誠一貫」のもと「真心と情熱をもって医療の発展と人類の健康増進と福祉に寄与する人材」の育成を目的としています。このような人材像は、貴社・貴団体が求める人材像とどの程度合致するかについて、該当するものをご選択ください。

1 合致する	2 どちらともいえない	3 合致しない
26	8	0

令和5年度 昭和大学教育に関する調査 集計結果(医学部)

4. 本学の教育に対する、要望や改善点、在学生に期待することなどをご記入ください。

【要望や改善点、期待すること】

- ・必要書類提出の期限が守れない、提出を待つ相手に対する敬意がpoor
- ・地域医療(特に地域を俯瞰的に診る目)にも力を入れて頂きたい。
- ・POMR方式のカルテ記載を卒前にある程度訓練されるとさらに良いと思います。
- ・集団ならできが個人ではやりにくいと言うか、やらない学生が多い。卒業生もしかりである。人と同じなら安心という姿勢では発展性がない。医学部入学が目標となっている学生が多いので、入学後の目標設定のやり直しや自己反省などできるような医師を育ててほしい。また、勉強する姿勢ができていない学生が多い。これは、高校での教育体制も影響していると思われるので、優秀な高校からの採用を増やしてほしい。
- ・貴学の学生に限りませんが、患者さんおよびメディカルスタッフとのコミュニケーションを円滑にとれるスキルを学生のうちから身に付けてほしい。また、積極的にプロブレムを考察する力を学生時代に身につけていることを期待します。改善点で思いつくことは特にありません
- ・医学部一般に言えることとして社会人としての基本的な振る舞い、幅広い教養にかける点があると思う。
- ・建学の精神を卒業後もずっと持ち続けてほしいと思います。

【お褒めの言葉】

- ・日々積極的に研修に臨んでいます。今後ともよろしく願いいたします。
- ・昭和大学では以前より1年次に富士山麓で学部を超えた教育を行っているようで、医療系の学生の共同生活により今後の病院勤務でのチームワーク形成にはとても良い取り組みと捉えております。特に医師は各チームでのリーダーシップを求められるため、学力のみではなくコミュニケーション能力や纏める能力、聴く力などの協調性が求められるので、引き続きの研修をお願い致します。
- ・今後も、本学で研修中の医師のような素晴らしい人材を育成いただくことを期待します。
- ・みんな常識のあるまじめな研修医が多いです。良く教育されているのだと思います。

【その他】

- ・札幌市で研修したい学生及び研修医を熱烈歓迎いたします。
- ・3名の総合的な評価となります。

5. 本学卒業生の「アンプロフェッショナルな言動」についてお気づきのことがございましたら、ご記載してください。

- ・将来の目標設定が低い。専門的なことへ徹底的な追及をするという言動が少なすぎる。研究追及が十分にできる環境を大学がもっと提供しなければ解決しないと思う。また、ものごとに勝手に限界や上限を作ってしまう。やる気がないと判断されるかもしれないことを理解していない。
- ・指導医に報告すべきところを報告しないことがあった
- ・貴学卒業生に限らず利他的態度には乏しいように思います。
- ・以前よりこのような、“教育内容を検証すると共に一層の改善を期するため、卒業後に「医療人としての能力(コンピテンシー)が身に付いているか」の調査”を頂くのですが、大学入学前より備わっていた能力が一連の大学教育でどの程度進歩させる出来たのか？をどのように評価するのかとても興味があります。難しいですよ？